

平成17年
6月

第15号

九州大学病院
広報委員会発行

九大病院だより

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。



九州初の心臓移植

●患者さんが元気に退院●

心臓移植施設に認定されている九州大学病院で、九州で初めて実施した心臓移植手術が成功、4月26日にこの患者さんは喜びの退院をしました。今後は自宅から定期的に通院して、社会復帰を目指されます。

患者さんは25歳の男性で、虚血性心筋症のために平成14年8月に入院。今年の2月、脳死と判定された横浜の50歳代の女性から心臓の提供を受け、心臓血管外科の森田茂樹助教授らのチームが18時間に及ぶ移植手術をしました。手術後の出血などで一時状態が不安定な時もありましたが、経過中に拒絶反応は一度も起こらず、晴れの退院になりました。この患者さんと同じように九大病院で長い間心臓移植を待っている患者さんたちは、今回の移植で大変勇気づけられたと喜ばれています。わが国では家族の承諾だけでは臓器の提供が認められていません。法律改正の動きもあり、臓器提供の条件が欧米と同程度になれば九州大学病院でも多くの患者さんが心臓移植を受けられるようになるものと期待されます。



コ
ラ
ム

医者の不養生

私は、骨にできる骨腫瘍や、筋肉などの軟部組織にできる軟部腫瘍の診察を得意にしています。骨腫瘍、軟部腫瘍のいずれにも良性腫瘍と悪性腫瘍がありますが、悪性腫瘍は発見が遅いと転移をきたし、なかなか治すことができなくなるので厄介です。悪性軟部腫瘍は大きくなると皮膚の表面からでも触ることができるので、比較的早く気づきそうなものですが、実際には大きくなり取り返しがつかなくなって来院される方が多いのです。「なぜ、こんなに大きくなるまで放っておかれたのですか？」と尋ねると、ほとんどの方が「痛みがなかったから、良性だろうと思って放っておいた」と答えます。しかし、軟部腫瘍は悪性であっても約70%は

いわた はきひで

整形外科教授 岩本 幸英

MESSAGE from Yukihide Iwamoto

痛みをとまいません。痛みがなければ良性だろうという安易な自己診断が、早期診断・早期治療の道を阻み、治療成績を悪くしてしまうのです。

安易な自己診断のために治る病気も治らなくなってしまうことは、何も一般の方々だけでなく、われわれ医者自身にもよくあります。なまじ医学の知識があるために自分の病気を甘めに診断する傾向があるので、手遅れになる確率は一般の方々よりも高いかも知れません。「医者の不養生」とは良くいったものです。

お互いに安易な自己診断だけはしないように、気をつけたいものです。



現在では、病院の放射線関係の検査はまとめて放射線部で行うことが一般的になっていますが、以前は診療科ごとにそれぞれ装置が配置され検査が行われていました。昭和33年、当時の入江英雄放射線科教授の尽力により、病院全体として放射線関係の検査を行う部門がまとめられ放射線部が誕生しました。画像関係の医学検査は、X線やガンマ線を利用したものが中心だったので「放射線」の名前がついたと思われますが、現在では超音波検査やMRIのように放射線を利用しない画像検査も放射線部で行われています。

放射線部は、診断（画像情報から病気の診断・進行度評価や、病変の生検・薬物注入による治療などを行う部門）・治療（リニアック装置や放射性同位元素を用いた治療を行う部門）・核医学（放射性同位元素を用いて画像診断や治療などを行う部門）の3部門に分かれており、放射線科をはじめ他の診療科との連携のもとに業務を行っています。昨年度は、単純X線検査160,000件、骨密度1,600件、造影検査6,000件、IVR治療600件、CT23,000件、超音波10,000件、MRI 8,600件、放射線治療20,000件、核医学検査（血液中のホルモン測定など）63,000件、核医学検査（シンチグラフィやPETなど）7,000件、核医学治療177件の実績を挙げています。

画像診断の進歩は素晴らしく、以前では考えられないほど早期に癌などの病変を発見できるようになっています。また、放射線治療では、的確に病巣部を照射する技術が進歩し、手術と同等以上の効果が期待できる病気もたくさんあります。しかも体への負担が少ないので、高齢者や心臓病・糖尿病などの基礎疾患を持っておられる方の場合、放射線治療の方が適している事も少なくありません。検査や治療に関し心配な点などいつでもスタッフにご相談ください。

連絡先

放射線部受付（事務的手続き等について）：092-642-5791

放射線科医局（診療について）：092-642-5685

うつ病は誰にでも起こりうる心の病気です。主な症状として、『抑うつ気分』と『意欲・関心の低下』があり、さらに不眠、強い倦怠感、食欲の減退や体重の減少、過度の自責感、集中力・判断力の低下、希死念慮（死にたいと考える）などが現れます。これらの症状が重く、しかも続いているとき、うつ病と診断します。

人間関係、仕事や子育ての責任、経済的窮迫などの精神的ストレスが引き金となることが多く、慢性的な身体疾患をもつ方にはとくに高率に起こります。逆にうつ病が、脳卒中、心筋梗塞、あるいは糖尿病に合併すると、これらの身体疾患自体の経過が悪くなるのが、最近の研究で明らかにされています。

うつ病治療の柱となるのは、静養と精神療法、そし

て薬物療法です。うつ病の人は、強い精神的ストレスの中でギリギリまで頑張り、心身ともに疲弊した状態にあります。そのため十分な休息を取ることが何よりも大切です。症状が軽い場合は静養と精神療法だけで改善することもあります。ただし、症状がある程度以上に重くなった場合、『抗うつ薬』を服用する必要があります。抗うつ薬を服用すると、重いうつ病でも通常3～4ヵ月程度で回復します。

大切なことは、普段から心の健康にも気を遣うこと、うつ状態が長引く時には、症状が軽いうちにかかりつけ医に相談し、必要ならばうつ病の専門医（精神科医や心療内科医）を紹介してもらってください。

（精神科神経科 教授 神庭 重信 TEL：092-642-5627）

うつ病

九大病院の地震時の対応について

この3月20日（日）午前10時53分に震度6の福岡県西方沖地震が発生しました。現在も余震が続いていますが、4月20日（水）午前6時11分には震度5弱の大規模な余震が発生しました。

九州大学病院では、平成14年度に開院した南棟と建設中の北棟（18年度開院予定）には全国に先駆けて震度7以上に耐える免震構造を用いており、図らずもこのたびの地震で耐震能力が実証されました。旧病棟の中央・東・西の各病棟では、建物の継ぎ目や入口付近に段差や壁のひび割れが生じましたが、ライフライン等の運転に支障はなく、また、何よりも入院中の患者さんに怪我をされた方や症状が悪化された方がおられなかったことは幸いでした。

病院は、これまでも災害対策マニュアルを作成し、防災措置を講じてきましたが、このたびの地震は、病院職員の一人一人があらためて災害対策の必要性を実感することになりました。このたびの経験に基づき、危機管理のために、災害対策計画の見直しを進め、職員が災害時に何をすべきかを再度徹底しています。災害は何時発生するか分かりません。万一の際は、病院職員の誘導に従い、落ち着いて行動して頂きますようお願い致します。



ふれあい看護 を体験



患者さんに話しかけているところです

看護週間の5月12日、九大病院は福岡県内の女子高校生に看護を体験させる体験学習を行いました。保健、医療、福祉への理解を深めてもらおうと厚生労働省、日本看護協会が主催、文部科学省が後援して全国一斉に実施するもので、「ふれあい看護体験」には香住丘、須恵、東海大付属第五高、福岡魁誠、糸島、香椎、九州産業大付属九州高、九州女子の8校から38人が参加しました。

尾首睦美看護部長が「クリミアの天使」ナイチンゲールや看護の日の意義について話をした後それぞれのグループに別れて、入院中の患者さんと話をしたり、洗髪、足浴、体の清拭などを体験しました。昼食は患者食をいただき「薄味でおいしい」とコメント。さらに、血圧測定や車椅子の扱い方なども教わり、看護がどんなものかを実地に体験しました。香椎高2年生の清水久美子さんは「放射線科で看護体験をしましたが、明るい患者さんでした。この体験をきっかけに将来は看護師さんになります」と早くも意欲を燃やしていました。

別府先進医療センターの 高齢者医療

循環・呼吸・老年病内科

当科では高齢の患者さんが多いのが特徴です。高齢者の疾患には若い頃からの病気が加齢に伴う修飾を受けて病態が変化すると、加齢とともに著しく増加し高齢者に比較的特有なもの（老年病）に分けられます。老年病の疾患としては骨粗鬆症、認知障害、動脈硬化性疾患などが代表的です。これらの病気は生命予後を規定するだけでなく、機能障害を起こし生活機能障害あるいは要介護状態となり、本人や家族のQOL（生活の質）を著しく障害することになります。当科では動脈硬化性疾患とりわけ脳血管障害や心臓病の患者さんに、残存した身体機能を保持し、社会復帰をはかることを主眼にした医療を行っています。本センターでは歴史的に温泉療法を行ってきた経緯があり、また別府の温泉は源泉数、湧出量ともに全国一を誇っています。泉質は食塩泉、重層泉、単純泉、重炭酸土類泉が多く、海岸性気候のため気温の較差が少なく、湿度も高く、また海風中に海塩やヨードなどを多く含むため、新陳代謝の亢進や自律神経の安定化を受けやすいとされています。特に温泉療法は人気が高く、病的状態からの自立的回復や機能調整の改善が主体であり、病的状態の人を正常化へ持って行くという、健康増進型治療といえます。当科ではすでに老年疾患に罹患し機能が障害されている高齢者に的確に対処するための方法論を開発することにより、質の高い高齢者医療の構築、展開をめざしています。

（循環・呼吸・老年病内科 科長 牧野 直樹 TEL：0977-27-1675）



お知らせ

患者さんが癒されることを願って、九州大学病院南棟2階ホスピタルストリートに絵画、写真等を掲示いたしております。作品を掲示いただける方がございましたら、患者サービス課（電話642-5981）までご連絡いただきますようお願いいたします。

※奨学寄付金とは、教育・学術研究の奨励及び病院運営の助成等のため、個人・法人等から寄付金として受け入れるものです。詳しくは、左記係へお問い合わせ願います。

「歯並び治療について悩みや疑問をお持ちの方はいらっしゃいませんか？」

歯並び治療の無料相談コーナー

歯科医療センター 開設しました！

- いつから始めたらいいの？ ●費用はどれくらいかかるの？
 - 治療にかかる期間は？ ●どんな器具をつけるの？
 - 歯を抜かないとだめ？ ●このまま放っておいたらどうなるの？
- などなどわからないことは人それぞれではないでしょうか…

実は2004年の11月に日本矯正歯科学会が福岡で開催した市民向けの公開講座の会場無料で歯並び相談コーナーを設けたところ、平日にもかかわらず約2時間で82組の方がいらっしゃいました。

もちろん治療やちゃんとした検査はできませんが、これまでお聞きになっていた様々な情報を整理し、治療に対する意気込みや受診のきっかけづくりに一役かえたことはいずれも嬉しい限りです。

さて今回、九大病院でもこのようなニーズにこたえることができるように、土曜日の休診日を利用して歯並び治療の無料相談コーナーを開設することにしました。

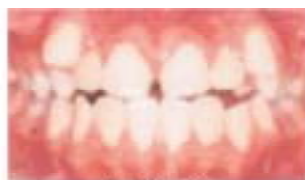
相談希望の方は、予約していただき御来院ください。お電話お待ちしております。

予約は

九大病院矯正歯科外来 092-642-6460 【歯並び治療の無料相談コーナー係】迄

日時：毎週土曜日 10:00~15:00(昼休み12:00-13:00)

場所：九大病院歯科医療センター1階 矯正歯科外来診療室併設の相談コーナー



治療前



治療後

凸凹した歯並び…
歯磨きもしやすく、
歯も歯ぐきもとても健康です！

外来診療日一覧

ご用件がありましたら、下記の診療科等に直接お電話願います。
(市外局番は「092」です)

科名(診療科)	初診日	再診日	科名(診療科)	初診日	再診日	診療施設等	電話番号
1 総合診療部 (642-5300)	月~金	月~金	1 第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金	救急部受付	642-5873
1 内科(初診) (642-5300)	月~金	月~金	1 整形外科 (642-5504)	月・水・金	金	時間外受付	642-5163
2 内科(再来) (642-5302)	月~金	月~金	2 脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金	総合外来受付	642-5138
1 産科産科産科 (642-5421)	月~金	金	2 心臓外科 (642-5565)	月・水・木	水・木	入院受付	642-5149
1 産科産科産科 (642-5996)	月~金	月~金	2 小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金	公費申請受付	642-5167
2 産科産科産科 (642-5335)	月・木	火・水・金	2 泌尿器科 (642-5615)	月~金	月・水・金	地域連携推進室	642-5165
2 産科産科産科 (642-5349)	火・木・金	月・水	2 皮膚科 (642-5596)	月・水・金	火・木	支払い窓口	642-5169
2 産科産科産科 (642-5371)	月~木	月・水	2 精神科神経科 (642-5640)	火・木	月~金	リハビリ受付	642-5862
2 産科産科産科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1 眼科 (642-5660)	月・水・金	月~金	医療相談	642-5914
2 産科産科産科 (642-5409)	火・木	月~金	2 耳鼻咽喉科 (642-5681)	火・木	月・水・金	在宅看護指導室	642-5185
2 産科産科産科 (642-5900)	月~金	月~金	1 放射線科 (642-5705)	月・水・金	月~金		
2 産科産科産科 (642-5430)	月~金	月~金	2 麻酔科産科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金		
1 産科産科産科 (642-5993)	月~金	月~金	別 産科産科産科 (642-5719)	月~金	月~金		
1 第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金					

※ただし、産科産科産科の初診日は月・水・金のみ。
※○印の曜日は予約が必要です。

- 休診日
土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/29~1/3)
- 受付時間(窓口)
8:30~11:00
自動再来受付機
8:15~11:00
- 外来玄関開閉時間
7:00~18:00

歯科医療センター

- 受付時間
初診
(窓口)8:30~11:00
(口腔ケア・予防科の口臭
クリニックは、火・木のみ)
- 再診
(窓口・自動再来受付機)
8:30~15:00
(矯正歯科は、
8:30~16:00)

注

- 予約がある場合はこの限りではありません。
- 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。



病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！
※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

(代表) 092-641-1151
〒812-8582
福岡市東区馬出3丁目1番1号

ご意見・ご感想を電子メール(ibs_koho@jimu.kyushu-u.ac.jp)
または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております！